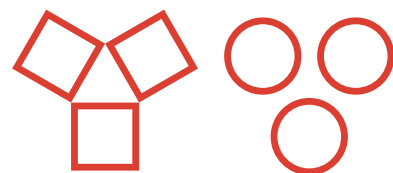


横浜美術館
YOKOHAMA MUSEUM OF ART



Educational Program: Children's Workshop

子どものアトリエ プログラム

2025.10－2026.3



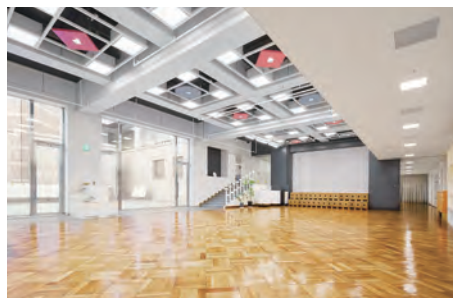
📄 こんにちは！子どものアトリエです！

横浜美術館リニューアルオープンにともない、「子どものアトリエ」の活動も再開しました。今回は、改めて私たちの施設と活動についてご紹介します。

アトリエには3つの大きな部屋があります。一番広い「プレイルーム」では、たくさんの粘土や絵の具などを使ったダイナミックな活動をおこないます。「光と音のスタジオ」には、光の色や種類を変えることができる照明があります。中2階にある「クラフトルーム」は、集中して取り組む作業にむいている部屋です。さらに中庭があり、絵の具でお絵かきをしたり、色水をつくって飾ることができます。

個人向けプログラムの他に、横浜市内の学校を学年単位で受け入れ（事前申込・抽選）、造形や鑑賞の活動をおこなう「学校のためのプログラム」や、教員向けの研修、病院や学校等に出向くアウトリーチプログラムをおこなっています。

さて、当館には「子どものアトリエ」のほかに、中学生以上を対象とした「市民のアトリエ」があります。どちらの施設も普段はプログラムに参加する人しか中に入ることができません。そこで、2つのアトリエを公開する特別なイベント「ぐるりアトリエ見学会」を今年も開催！どなたでもご参加いただけますので、ぜひご来場ください。



撮影：新津保建秀

ぐるりアトリエ見学会

日程＝11/2⑩・3月⑨

詳細は横浜美術館ウェブサイトをご覧ください。



● 横浜美術館の展覧会

小学生以下、観覧無料

【企画展】

横浜美術館リニューアルオープン記念展

佐藤雅彦展 新しい×（作り方＋分かり方）

2025年6月28日①－11月3日⑨⑩

休館日＝木曜日

『ピタゴラスイッチ』（NHK）などの教育番組、『パズルでござーる（NEC）』『モルツ（サントリー）』をはじめとするTVCM、《計算の庭》に代表される身体表象をテーマにしたインタラクティブアート——。発表するコンテンツが都度話題を集め、長くメディアの世界を牽引してきた佐藤雅彦の創作活動を概観します。

《計算の庭》（桐山孝司との共作） 「六本木クロッシング2007」展示風景（森美術館、2007年）



【コレクション展】

戦後80年特集展示

「平和であることへの、控えめななにごとかを」ほか

2025年6月28日①－11月3日⑨⑩

休館日＝木曜日

戦後80年の節目にあたり、戦争と美術をテーマにした展覧会を開催します。また、休館中の新収蔵作品から、写真家・奈良原一高が横浜を撮影したシリーズ＜Blue Yokohama＞全点を初展示します。加えて、当館の「名品」を紹介するハイライトのコーナーをはじめて設けます。今回はダリ、セザンヌ、奈良美智の作品を紹介します。

北脇昇《眠られぬ夜のために》（習作）1937年



【企画展】

横浜美術館リニューアルオープン記念展

いつもとなりにいるから 日本と韓国、アートの80年

2025年12月6日①－2026年3月22日⑩

休館日＝木曜日、2025年12月29日⑨～2026年1月3日①

地理的にも文化的にも近い他者として、長い歴史を歩んできた日本と韓国。私たちにとって、韓国の文化はますます身近なものになっています。そんな隣の国のことを、もっと知りたいと思いませんか。この展覧会では、アートを通して、知られざる2国間の歩みをたどります。



田中功起《可傷的な歴史（ロードムービー）》
2018年 個人蔵

【コレクション展】

子どもも、おとなも！

つくるわたしが、つくられる

2025年12月6日①－2026年3月22日⑩

休館日＝木曜日、2025年12月29日⑨～2026年1月3日①

自分ってだれなんだろう？その自分がものをつくるって、どういうことなのか？この展覧会では、そんな疑問について考えるきっかけとなる作品をご紹介します。

子どもにとって楽しい、おとなの入門編として楽しい、そして、子どもとおとながいっしょに見て楽しい、みんなのための展示です。

西野正将《New Generations》
2006年 寄託作品 撮影：甲野善一郎



子どものアトリエってどんなところ？

自分の目でみて、自分の手でふれ、自分でやってみよう！

横浜美術館子どものアトリエは小学校6年生（12歳）までの子どもたちを対象とした創造の場です。

「描く・つくる・みる」体験を通して、子どもたちの主体性を育むプログラムを提供しています。

自分で試行錯誤しながらつくってみること。

作品を前に、自分の気持ちや感じたことを言葉にしてみることに。

アートとの出会いを通じて、子どもたちが自分自身と向き合いながら、

「やってみたい！」という気持ちを引き出すことを目指しています。

お申込みは
ウェブサイトから

詳しくは裏面をご覧ください

個人の造形 プログラム

事前申込制 有料

さまざまな素材の特性や技法を、学齢に応じた方法で学ぶプログラムです。つくることにじっくりと取り組みたい子どもたちにおすすめです。複数の日程があるプログラムは、全日程の出席が必要です。



10月 でかっ！デカルコマニー 2回 小学校1・2・3年生

当館エデュケーター

身長と同じくらい大きさの紙を使って、ダイナミックにデカルコマニーをします。
できあがった模様からイメージをふくらめると、
あっと驚くような生きものや風景が見えてくるかも？

日程＝10/5・12㊥（全2回） 時間＝14:00-16:00 定員＝20名（抽選）
参加費＝4,500円（材料費含む） 申込期間＝8/19㊥～9/19㊥

11月・12月 木彫に挑戦！ペンギンを彫ろう！ 2回 小学校4・5・6年生

本多絵美子（彫刻家）

ノコギリや彫刻刀を使って、
手のひらサイズの木っ端からペンギンを彫りだします。
木の硬さや香りを感じながらつくってみよう！

日程＝11/30・12/7㊥（全2回） 時間＝14:00-16:30 定員＝15名（抽選）
参加費＝8,500円（材料費含む） 申込期間＝10/14㊥～11/14㊥



千葉市美術館でのワークショップの様子 2025

2月 子どももおとなも しらないわたしをさがしてみよう

下司尚実（振付家）

1回 小学生とその保護者

からだ全部を使った作品の見方を、親子で考えよう！
アトリエでからだをほぐしたあと、みんなで展示室に行きます。
自分で考えた見方を試しながら、いろいろな作品を鑑賞しましょう。
普段とは違う風景が見えてきたら、新しい自分に出会えるかも！

日程＝2/1㊥（全1回） 時間＝14:00-16:00
定員＝5グループ15名程度 [1グループ3名まで]（抽選）
参加費＝ひとり1,500円（子ども・大人共通料金、材料費含む）
申込期間＝12/9㊥～1/16㊥

未就学児の ための プログラム

事前申込制 有料

美術館や「子どものアトリエ」に来るのがはじめての就学前の子どもたち、おうちとは違った環境でものづくりを楽しみたい子どもたちと、保護者がともに参加するプログラムです。いっしょに素材や道具に触れながら、子どもたちの興味や関心をひろげていきます。



はじめての造形あそび 親子 0歳から5歳

絵の具や紙など、身近な素材を通して、色や形のおもしろさに出会いましょう。エドューケーターによる工作のサポートもあるので、はじめての方でも安心です。

あそびながら道具の使い方を覚えたり、身近な素材を組み合わせで形をつくったり。

おうちでもできる簡単な造形あそびを提案します。

日程＝11/12(水)・11/19(水)・11/21(金)

時間＝10:15～11:30

対象＝未就学児とその保護者

定員＝各回40グループ〔1グループ5名まで〕(抽選)

参加費＝ひとり400円(子ども・大人共通料金、当日現金支払い)

申込締切＝各開催日の10日前



障がいのある 子どもたちのための プログラム

事前申込制 有料

障がいを持つ子どもたちが、家族とともに造形体験ができるプログラムです。子どもたちの興味や関心にあわせ、それぞれのペースでゆっくりじっくり楽しむことができます。素材との出会いや人とのかわりを通して、子どもたちの感覚をひらきます。



撮影：加藤南

のびのび造形じかん 家族 小学生

個別支援学級や特別支援学校に通う小学生とその家族を対象とした自由な創作の時間です。

大きな紙に筆や手などを使って絵の具でお絵描きしたり、重たい土粘土をこねたり。触れて楽しむ色水袋や不思議な音の出るオブジェなど、五感に働きかけるさまざまな仕掛けを用意しています。

日程＝10/18・11/15・12/13・1/24・2/14・3/14(土)(月1回)

時間＝10:15～11:30

対象＝個別支援学級、特別支援学校等に通う小学生とその保護者、きょうだい

定員＝各回30グループ〔1グループ5名まで〕(抽選)

参加費＝ひとり400円(子ども・大人共通料金、当日現金支払い)

申込締切＝各開催日の10日前



撮影：加藤南



文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

文化庁委託事業「令和7年度障害者等による文化芸術活動推進事業」
主催：文化庁、横浜美術館 制作：横浜美術館

みんなの フリーゾーン

事前申込制 先着順 有料 団体利用不可

子どもたちが、さまざまな素材を使って描いたりつくったりすることができるプログラムです。粘土、絵の具、紙の3つのコーナーで自由に遊ぶことができます。自分で素材を選び、つくってみることを通して、子どもたちの自主性を育むことを目指します。

どんなことができるの？

●ねんどコーナー

陶芸に使う粘土に水を加え、よく練って、子どもたちがちぎったりまるめたりしやすくしています。

自然の素材である土の粘土は、思わず触れたくなるなめらかさと、思った形をすぐにつくれる自由さが魅力です。

机を粘土板代わりに、たくさん粘土を使ってダイナミックに作品づくりに取り組んでみましょう。



撮影：御厨慎一郎

●えのぐコーナー

赤・青・黄・白の4つの色を基本に使います。

自分の身体より大きな画面に思い切り絵を描くことができます。

気候の良い時期は、屋外の中庭で、お絵描きや好きな色をつくる色水遊びが楽しめます。暑い日や寒い日、雨の日は室内で実施します。

絵の具で汚れてもよい服装と靴でご参加ください。



撮影：加藤健

●かみコーナー

色紙や段ボール紙など、色や厚さ、手触りが異なる紙などの素材を使って自由に工作ができます。

ハサミを使って好きな形に切ったり、のりやホチキス、テープで貼りあわせたりして、自分だけのアイデアを自由に形にしてみましょう。

作品はおうちにもって帰って、飾ったり遊んだりできます。



撮影：加藤健

申込方法

事前のお申込みが必要となりますのでご注意ください。
当館ウェブサイト「みんなのフリーゾーン」ページから
「申込フォーム」でお申し込みの上、当日ご来場ください。
<https://yokohama.art.museum/event>



●対象

小学生以下の子どもとその保護者

●参加費

ひとり400円（子ども・大人共通料金、当日現金支払い）

※釣銭のないようご用意ください。

●定員

各回120グループ程度 [1グループ5名まで]（先着順）

※保護者・乳幼児を含むすべての人数でお申し込みください。

※安全面への配慮から、保護者の方と一緒にご参加ください。 ※団体でのご参加はできません。

●受付期間

各開催日1週間前の12時から ※定員に達し次第、受付を終了します。

●開催時間

10:00-11:30

●開催日カレンダー

2025年	日曜日
10月	5日・12日・19日
11月	9日・16日・30日
12月	7日・14日

2026年	日曜日
1月	11日・18日・25日
2月	1日・8日・15日
3月	1日・8日・15日

●講師・アーティストの紹介



●本多絵美子 ほんだ・えみこ

彫刻家。木を彫る技法を通じて、生き物と場所との関係性をテーマに活動。展示される空間を生きる住処として捉え、人と共に生きる身近な虫や動物をモチーフとして制作。全国各地で個展やグループ展を開催する他、講師として積極的にワークショップを行い、木を彫る喜び・普段触れることのない生き物を観察する楽しさを伝えている。



●下司尚実 しもつかさ・なおみ

振付家・演出家・ダンサー。自由形ユニット“泥棒対策ライト”主宰。物語に寄り添った身体表現が評判を呼び、舞台『サザエさん』など様々な作品に振付・ステージング参加している。一方、フランスにて子供と舞台文化との近さに感銘を受け、幼稚園に出向きひとりで桃太郎を演じる活動や、子供も向けWSの開催、自身の団体でも未就学児500円の公演を行うなど未来に向けた活動をしている。東京パラリンピック閉会式ではAFTER THE GAMESパートを担当。

申込方法

ウェブサイトの各プログラムの
「申込フォーム」からお申込みください。

◎きょうだいで対象年齢が該当する場合は、連名でお申込みいただけます。ただし、お友だち同士の連名での申込みはできません。

◎応募者多数の場合は抽選となります。

横浜美術館ウェブサイト「参加する」
<https://yokohama.art.museum/event>



●申込後の流れ

▶受付完了後に「受付確認メール」(自動返信)をお送りします。
すぐに届かない場合は、ご連絡ください。

※登録アドレスに間違いがあるか、メール受信拒否が設定されている場合があります。特にスマートフォンでお申込みの場合は、設定をご確認の上、当館ドメイン@yaf.or.jpの受信設定をお願いします。

▶抽選結果は、申込締切後、全員に「メール」でお知らせします。

▶参加費のお支払い方法などは「メール」でお知らせします。

※原則として一旦納入された参加費は返金いたしません。

◎やむを得ない事情により、プログラム内容を変更または中止する場合があります。その際は、申込者全員にご連絡します。

◎プログラム中の記録写真、映像を横浜美術館または横浜市芸術文化振興財団のウェブサイトやその他の刊行物に掲載する場合があります。

◎お預りした個人情報は、横浜市芸術文化振興財団個人情報保護方針に基づき厳重に管理するとともに、プログラムに関するご連絡や、横浜美術館のご案内以外には使用しません。

●お問合せ

横浜美術館 子どものアトリエ

Tel. 045-221-0300

受付時間10:00~18:00 木曜日休館(12/29~1/3休館)

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1

●アクセス

○みなとみらい線(東急東横線直通)「みなとみらい」駅3番出口から、マークイズみなとみらい<グランドギャラリー>経由徒歩3分

○JR京浜東北線・JR根岸線・横浜市営地下鉄「桜木町」駅から(動く歩道)を利用、徒歩10分

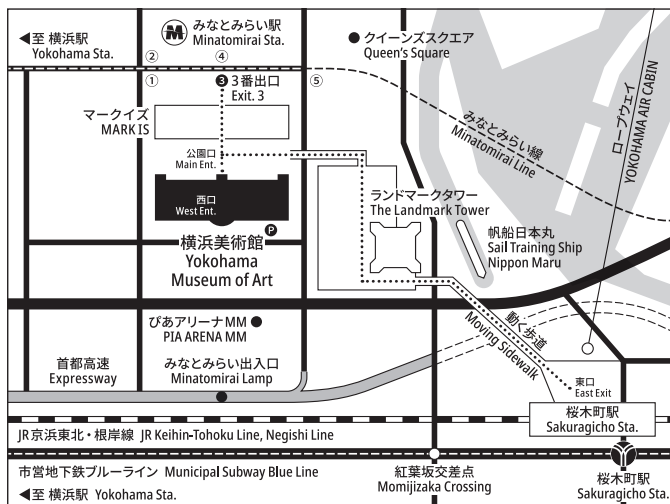
○駐車場(10:00~21:00、台数157台) 最初の90分は500円、以降30分毎に250円

※自転車・自動二輪車は、周辺の有料駐輪場をご利用ください。

※障がい者手帳をお持ちの方には駐車場割引(最初の90分無料)があります。

●乳幼児対象サービスやバリアフリー情報 →

<https://yokohama.art.museum/visit/accessibility/>



横浜美術館をさらに楽しんでいただくために、さまざまな方を対象としたプログラムを企画しています。詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。

●横浜美術館ウェブサイト →

<https://yokohama.art.museum>

